

「桐生新町重伝建に建つ地区センター」 ヒカリ～雷～ギザギザ

群馬県立桐生工業高等学校 新井日和 木村優希 小池流駆 小林聖奈 田島鉄也
建設科 吉川雷斗 石川椋渡 高橋竜 竹内美衣風

1. はじめに

本校では敷地に隣接する桐生新町重要伝統的建造物群保存地区内の民家に目を向け、5年前より、地域住民や市役所の方々の協力のもと建築甲子園へ応募して参りました。念願の優勝に対し、群馬建築士会様をはじめ全ての関係者の皆様へ感謝申し上げます。今年度は「これからの地区センター」が求められ、あらゆる地域活動の核となる地域に根ざした桐生新町にふさわしい計画を提案しました。少々ご紹介いたします。

2. プロセス (作品は民家の改修計画です。)

- (1) 敷地選定等：家主様にご承諾をいただき、重伝建に残る民家と空き地を計画地に決めました。
- (2) 調査：敷地の測量、民家の実測調査を行い、寸法を詳細に計り、スケッチを重ねました。
- (3) 復元図作製：スケッチを基に2DCADで平面、断面、立面の2次元図を作図後、3DCADで対象民家を3次元化しました。
- (4) 構想：復元図から、活用・減築・増築部を検討し、構想を練りました。
- (5) 提案図作製：復元図に加工を施し、提案図を作製。その後、応募しました。



調査

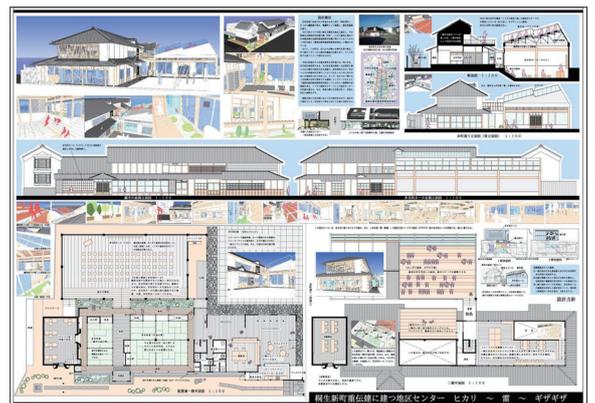
復元図作製



提案した地区センターの外観

3. 提案内容

特徴ある町割り・蔵・町家・鋸屋根工場など多様な伝統的建造物群が残る「桐生新町重要伝統的建造物群保存地区」の一角にある明治前期に建てられた民家の再活用計画。「様々な人が多目的に使用できる建物」をコンセプトに、既存の田舎間と二間の格式ある座敷を生かした提案です。鋸屋根からの柔らかな「ヒカリ」が降り注ぐ多目的ホール、また、風土に馴染む上州名物「雷」と鋸の「ギザギザ」を基調とした意匠が特色です。詳しくはHPをご覧ください。



4. おわりに

重伝建は住民運動が実を結び平成24年に国の選定を受け、今も魅力のある町並み保存整備が進められています。作品も町づくりの一助になればと思い製作を進めました。さらに、本校では桐生新町重伝建地区とともに町づくりの学習も深めたいと思います。

優勝メンバーインタビュー

新井：元々あった建物の形を極力変えずに、新しさと親しみを感じる案が創れたと思います。

木村：何枚も実際に使われている建具を忠実に3DCADで立体化する作業が大変でした。

小池：建築関係の仕事に就く夢があり、将来に弾みが付く良い経験になりました。

小林：地区の皆様喜んでいただける優勝は嬉しく光栄です。御協力ありがとうございました。

田島：先輩たちの積み重ねがあつての優勝だと思えます。先輩には感謝しかありません。

吉川：民家を生かす心地よい空間が表現できたと思います。桐生を知る機会になりました。

石川：地域、仲間と協力した作品作りは、良い勉強になりました。設計の楽しさを知りました。

高橋：まさか優勝するとは思ってなく、とても嬉しく、夏の暑い中頑張った甲斐がありました。

竹内：自慢作になりました。再現に繋げる力が欲しいです。実現の感動も味わいたいです。

